

# 科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業 共進化実現プロジェクト成果報告会

企画：文部科学省

2021.2.17 (水) 14:00～16:00 Zoomにて開催

特設HP <https://www.scirex-openforum.info/>

## 共進化実現プロジェクト成果報告会概要

SciREX事業では、具体的な政策ニーズをもとに、課題設定段階から研究者と行政官が協働して研究を進める「共進化実現プロジェクト」を実施しています。研究者の学術的関心だけに基づく研究でもなく、短期間で成果を出すことを求めがちな行政官が行う調査分析でもない、新しいEBPM（エビデンスに基づく政策形成）に向けた実践の取組です。本セッションでは、平成31年度から開始した9つのプロジェクトについて、2年間の取組の成果を報告します。プロジェクトに取り組む研究者や行政官と直接対話いただけます。是非、ご参加ください。

## 共進化実現プロジェクト一覧

1	研究生産性に与える要因とメカニズムの探求のための定量分析：論文生産性を指標とした競争的資金と組織特性の影響分析 代表者：江藤 学 一橋大学イノベーション研究センター 教授 政策担当部署：文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課
2	研究力向上に向けた新たな測定指標の開発：各研究文化に適合した分野別指標と組織・ネットワークの機能指標 代表者：林 隆之 政策研究大学院大学 教授 政策担当部署：文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課、研究振興局学術機関課
3	イノベーション創出の基盤強化のためのメカニズム分析：SPIASを活用して 代表者：池内 健太 政策研究大学院大学SciREX センター 特任フェロー 政策担当部署：文部科学省科学技術・学術政策局科学技術・学術戦略官（国際担当）付、研究開発基盤課、人材政策課、企画評価課
4	新興・融合科学領域における「予見・分析手法」の検討と人的ネットワークの形成 代表者：有本 建男 政策研究大学院大学 客員教授 政策担当部署：文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課新興・融合領域研究開発調査戦略室
5	イノベーション・エコシステムの構成要件に関する調査・分析 代表者：永田 晃也 九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター センター長／教授 政策担当部署：文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課
6	医療分野の特性に合った基礎研究・応用研究・実用のイノベーションエコシステム構築に資する調査研究 代表者：隅蔵 康一 政策研究大学院大学 教授 政策担当部署：文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
7	地震分野の研究成果の実効的な活用・社会実装方策に関する分析 代表者：森川 想 政策研究大学院大学SciREX センター 特任フェロー 政策担当部署：文部科学省研究開発局地震・防災研究課
8	大学等における人材育成活動による、新興国における宇宙技術の開発・利用への貢献に関する国内枠組みの検討・分析 代表者：城山 英明 東京大学公共政策大学院 教授 政策担当部署：文部科学省研究開発局宇宙開発利用課宇宙利用推進室
9	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）の歴史・現状・未来像に関する研究：政府と民間の関係に焦点を当てて 代表者：渡邊 浩崇 大阪大学COデザインセンター 特任准教授 政策担当部署：文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

## コアタイム

14:00-14:15	オープニング			
14:15-14:45	コアタイム①	江藤PJ	林PJ	池内PJ
14:45-15:15	コアタイム②	有本・平川PJ	永田PJ	隅蔵PJ
15:15-15:45	コアタイム③	森川PJ	渡邊PJ	城山PJ
15:45-16:00	クロージング			

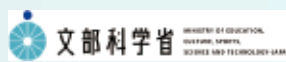
お問い合わせ

オープンフォーラム運営事務局：scirex-openforum@nagoya-nsc.co.jp

主催



共催・協力



SciREX拠点大学・関係機関

科学技術イノベーション政策は、大きな転換点を迎えています。政策が対象とする範囲は、科学技術の振興のみならず、デジタル技術の急速な普及による社会の変化への対応や、SDGsのように複雑で多様な社会課題への貢献など広がりを見せ、多様なステークホルダーの参画や共創が求められています。更に、新型コロナウイルスの発生は、政策と科学のコミュニケーションや相互の信頼、そしてエビデンスに基づく政策決定について、一部の専門家のみならず、広く社会に対し問題を提起するものとなりました。また、ポストコロナにおける課題解決のための研究開発の振興、人材育成の在り方、サイエンスコミュニティそのものの多様化など、様々な側面で従来とは異なる新たな展開の必要性を突き付けています。今、科学技術イノベーション政策として、何が求められているのでしょうか。政策と科学の関係性はどうか進化すべきでしょうか。国内外の動向を紹介するとともに、2011年度から実施してきた文部科学省補助事業・科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」（SciREX事業）における取り組み等も紹介しながら、セミナーシリーズとして多岐にわたる角度から議論します。

## スケジュール

4 テーマ・11 セッションを、2020 年 12 月下旬～2021 年 3 月にかけて開催します。

テーマ：【1】政策と科学の関係、【2】EBPM、【3】人材育成、【4】共進化

M：GRIPS SciREX センター主催のメインセッション P：各拠点・関係機関からの提案セッション

#	日時	テーマ	企画者	セッション名等
1	12/22 (火) 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター	M1：科学と政治、政策
2	1/11 (月) 18:00-19:30	【3】	九州大学 CSTIPS	P1：九州大学CSTIPSにおけるSTI政策専修コースの7年間を振り返る
3	1/18 (月) 18:30-20:00	【2】	GRIPS SciREXセンター	M2：科学技術イノベーション政策におけるEBPM実現の展望
4	1/21 (木) 18:00-19:30	【2】	京都大学 STiPS	P2：EBPMに向けた自治体との連携による健康、医療のデータ活用
5	1/26 (火) 18:30-20:00	【1】	JST 社会技術研究開発センター	P3：アフターコロナの政策のための科学に向けて - リスクモデルと経済モデルの統合可能性-
6	2/5 (金) 18:00-19:30	【3】	GRIPS SciREXセンター 日英同時通訳	M3：変わりゆく科学技術イノベーション政策のエコシステムと人材育成
7	2/12 (金) 18:30-20:00	【3】	GRIPS GiST・SciREXセンター 東京大学 STIG	M4：科学技術イノベーション政策人材育成の現在と未来
8	2/16 (火) 18:00-20:00	【1】	東京大学 STIG 大阪大学 STiPS 日英同時通訳	P4：リスクガバナンスとコミュニケーションの新展開—新興感染症、自然災害、気候変動への複合的対応
9	2/17 (水) 18:00-20:00	【4】	GRIPS SciREXセンター	M5：政策と科学の共進化—その望ましい姿と現実、次のステージに向けて—
10	3/9 (火) 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター 日英同時通訳	P6：科学技術外交
報告会	2/17 (水) 14:00-16:00	【4】	文部科学省	P5：研究開発プロジェクト報告会

※日程やセッション名など、随時更新

## 対象者

科学技術イノベーション政策に関心のある政策立案関係者、研究者、企業、NPO 等 マルチステークホルダーによる政策形成や推進に向けて、多様な方々のご参加をお待ちしております。